



地域の支え合い活動応援!

地域福祉活動団体助成

真庭市社協では、地域の支え合い活動・ボランティア活動を応援するため『地域福祉活動団体助成』を行っています。

八束で子育て支援活動を行っている「子育て応援隊」代表の松下紀子さんに活動の様子を伺いました。

親子が無理なく、自由に遊べる場



■団体を立ち上げたきっかけを教えてください。

平成16年に、1週間に1度は親子で遊ぶ場所があるといいなと思い、当時の親子クラブの役員と、栄養改善協議会の皆さんの協力で始めました。

■どのような活動をしていますか?

1～3歳の未就学児を対象に、毎月2回(金)、八束コミュニティセンターに集まり、自由に過ごしてもらっています。ブランコ等大型のおもちゃや親子の工作なども用意しています。

また、季節感のある遊びや、講師をお招きしてピラティスなどの本格的な指導、昨年度は手作りの軽食の提供などもしました。

■活動していて「良かったな」と思う時はどんな時ですか?

感謝されると嬉しいです。でも、私自身が皆さんに癒されています。また、この会は、子どもだけでなく、親同士も友達になれて、嬉しいと言っています。

■今後の活動について教えてください。

活動を15年間続けてこられたのは、応援隊員の協力と、社協からの助成金のおかげです。これからも、無理なく楽しく継続していきたいです。



(一社)生命保険協会岡山県協会からおもちゃの寄贈を受けました! (R2年2月)

協会職員と一緒に記念撮影

この助成金は、善意銀行が財源になっています

→次頁、関連記事掲載

【高次脳機能障害の原因】

全国に327,000人と推計されているよ注1)

8割「脳卒中」(脳梗塞、脳出血、くも膜下出血など)

1割「脳外傷(交通事故など)」その他、脳炎、心筋梗塞から起こる低酸素脳症など

注1)H28厚生労働省社会・援護局 障害保健福祉部の調査

**住み慣れた地域で
障害を支えたい**

病気や交通事故などが原因で脳が部分的に損傷され、言語や記憶、注意などの認知機能に障害が起こることが「高次脳機能障害」といいます。外見上は障害が目立たない、入院生活よりも在宅に戻った後、家庭や職場や学校で日常生活が困難になるため、「見えない障害」「隠れた障害」とも言われます。

高次脳機能障害の当事者、ご家族を支える活動をしている「おしゃべり会」に話を聞きました。

■会を設立したきっかけは？

**高次脳機能障害・家族会
「おしゃべり会」**



代表 **金崎 善子** さん (写真左)
会計 **小金 良江** さん (写真右)

（金崎さん） 主人が倒れた平成16年当時、障害の理解も支援体制も整っていませんでした。脳外傷の家族の会を探して、岡山や倉敷に勉強に行きました。毎回の参加は身体的・経済的に苦しいものでした。そんな時、県の拠点機関の支援を受け、真庭に「シードの会」ができました。そして、当事者がリハビリ中、家族は専門医や言語聴覚士に相談できるようにになりました。その後、家族同士でも困りごとやちょっとした愚痴をこぼし、泣いてもいい会をしたいと、施設にみてもらっている間、家族が集まれるこの会を作りました。

■活動の様子を教えてください（小金さん） 相談に来られる方や、言語聴覚士による失語症のリハビリもあり、そのご家族も参加されます。「この地の方に知ってもらいたい」という思いから、久世の「風曜日」で活動しています。

■「高次脳機能障害」は、脳の損傷の場所によって色々な障害があります。重度であれば支える家族が、軽度で自分の障害を理解できれば自分自身が悩み、心や体を壊していきます。会に参加して「こんなこと相談して笑われるだろうか」ということでもふつと話してもらい、経験や手続き、サービスの事を一緒に共有できればと思います。

■今後の展望はありますか？（金崎さん） 寄り添っていける会でありたいと思います。この障害を持った方、支える家族は地域の中に潜在的におられます。会の事を地域の方、ケアマネさんなど専門職の方に広く知ってもらいたいのです。医療の進歩で助かる命が増えていきます。当事者や介護家族が地域で孤立しないで、生まれ育ったこの地域で「幸せ」と思っ日々を過ごしてもらいたいです。

社協は、「おしゃべり会」の活動を地域福祉活動団体助成により、応援しています。

ボランティア活動保険のご案内

「ボランティア活動保険」は、国内でのボランティア活動中のケガや損害賠償を補償する保険です。

■年間保険料 (令和2年度1名あたり)

「基本プラン」 350円

「天災・地震補償プラン」 500円

※基本プランでは、地震・噴火・津波が起因する死傷は補償されません。災害ボランティア活動の参加は、「天災・地震補償プラン」への加入をおすすめします。

■補償期間 令和2年4月1日～令和3年3月31日

■保険料助成

真庭市社協に登録し、活動しているボランティアが、安心して活動に取り組めるよう、社協がボランティア活動保険の保険料を一部負担します。

登録1名につき年200円を負担します。

■相談・加入申込

真庭市社協本所・各支所で随時受け付けています。

補償内容や保険料助成などについて、詳しくは社協にお問い合わせください。

真庭市社協本所
☎0867(42)1005

福祉活動に活かします

善意銀行だより

〔敬称略・受付順〕

※真庭市社協への個人からの寄付は税額控除対象となります。

寄付金 二月二十九日

合計 八十二万四千円

〔本所〕

千鳥 修(久世) 忌明け
カラオケ喫茶「琴」(目) 発表会記念

猪頭 義信(三崎) 忌明け
片岡 文子(久世) 香典返し

清友久美子(草加部) 香典返し
清友久美子(草加部) 忌明け

〔北房支所〕

鋳鍋 義夫(宮地) 香典返し
藤本 諭司(上水田) 香典返し

江川 隆男(下中津井) 香典返し
上田 徳(阿口) 香典返し

西村 清美(上水田) 香典返し
柳田 弘子(上水田) 見舞返し

西村 晴城(五名) 見舞返し
小郷真知子(倉敷市) 香典返し

〔落合支所〕

井尾 和幸(高屋) 香典返し
大橋 康治(関) 香典返し

菱川 幸博(一色) 忌明け
植田 哲夫(中) 香典返し

植田 哲夫(中) 忌明け
福島喜代治(木山) 忌明け

坂元 清(上市瀬) 香典返し
市場 盛重(栗原) 香典返し
石原 公墓(関) 香典返し

海原 隆(中河内) 忌明け

亡中川 良子

中川 正(落合垂水) 見舞返し

中川 正(落合垂水) 香典返し

亡中川 正一郎

中川 正(落合垂水) 見舞返し

中川 正(落合垂水) 香典返し

〔勝山支所〕

齋藤 啓司(本郷) 忌明け

堀 史明(月田) 香典返し

堀 史明(月田) 忌明け

河本 邦彦(勝山) 篤志寄付

大塚 勇(神代) 香典返し

浦島 良江(本郷) 香典返し

三宅 竜(山久世) 忌明け

三宅 竜(山久世) 忌明け
船津 圭祐(後谷) 香典返し
須田 昌宏(組) 忌明け
福富 和明(若代) 香典返し
富永 隆弘(勝山) 香典返し

〔美甘支所〕

横山 菊雄(鉄山) 忌明け

大西 泉(見明戸) 香典返し

足利 正志(粟谷) 忌明け

池田 一則(豊栄) 香典返し
植田 利治(藤森) 香典返し
西田 治幸(見明戸) 香典返し
山崎 孝良(都喜足) 香典返し
吉村 政子(下湯原) 篤志寄付

田口 広文(藤森) 香典返し

〔八束支所〕
入澤 鋭之(森山上長田) 忌明け

山本 和生(森山上長田) 忌明け

大美 正広(森山上長田) 香典返し

大美 正広(森山上長田) 忌明け

瀬戸 淳(森山中福田) 香典返し

山岡 進(森山上長田) 見舞返し

善意銀行へご寄付をありがとうございました。ご寄付は社会福祉協議会の行います各種社会福祉事業へ活用させていただきます。

ありがとう



「書き損じはがき」集めています!!

真庭市社協は、ご不用の書き損じはがきを集めています。

社協に寄せられた書き損じはがきは、郵便局で切手やはがきに交換し、ボランティア活動の推進など、社協が行う福祉事業に役立っています。

社協本所・各支所窓口に専用ポスト(箱)を設置していますので、書き損じはがきを投函し、ご提供ください。

こうした収集ボランティア活動は、身近で気軽に始められる活動です。個人でもグループでも取り組むことができます。

是非、ご協力ください。

協力してね!!

★提供いただいた「書き損じはがき」

3,621枚

(平成22～令和元年度)

164,006円分

の切手やはがきとなり、真庭市内の福祉活動に活かされています。



↑社協窓口に設置の「書き損じはがき」専用ポスト

心配ごと相談所

4月の予定

※相談は無料です。予約は不要です。

9時~12時	北房 (真庭市役所北房振興局)	23日(木)
	落合 (落合老人福祉センター)	9日(木)
	久世 (真庭市役所本庁舎)	22日(水)
13時~16時	勝山 (勝山保健福祉センター)	3日(金)
	美甘 (真庭市役所美甘振興局)	14日(火)
	湯原 (湯原保健福祉センター)	16日(木)
9時~12時	八束 (八束老人福祉センター)	10日(金)

お気軽にご相談ください

※秘密は固く守られます。電話 (0867) 42-1005

小さな気付きを大切に

「福祉委員」活動

福祉委員は「地域の身近な見守り役」として、地域の困りごとを早期に発見して、関係機関へつないでいく大切な役割を担っています。原則2年の任期で真庭市社協会長が852人に委嘱しています。

今回は、湯原地区(大字社、宇和佐)で活動している美甘真里さんにお話を伺いました。

■福祉委員は何年目ですか？

平成23年からで8年過ぎたと思います。区長さんから話があり、2年のつもりで受けました。その後はもう1回とくり返し、今日まで続けています。

女性の一人暮らしには、女の人が声かけしやすいことはあるかもしれませんね。



訪ねてきたご近所さんとお話

■印象的なお話はありますか？

地域助けあい事業の協力会員として見守りをしていくご夫婦の奥さんから「冷蔵庫がふれて困る」と相談がありました。

お話を伺うと、宅配のカタログ注文を毎週されていて、楽に作れる冷凍物や写真を見て欲しいようになった物を注文されていました。

また、度々帰れない子どもさんが気遣った送り物も加わり、冷蔵庫があふれている状況でした。

この事について、社協に相談に行きました。そして、社協から子どもさんに連絡し、「帰省時、冷蔵庫内にある食材の確認をお願いしたい」と伝えていただきました。

小さな事かもしれませんが、ご本人にとつては相談することができ、安心された様子でした。

■地域の様子はどのように把握していますか？

孫の送り迎えに歩くので、途中で出会う人と立ち話によくなり、地域の様子を話します。また、サロンでは、「○○さんは?」「病院行つとるで」と、最近知った事や地域の話題は尽きません。サロン参加者は、月1回のサロンで近所の人に会えること、これを作れたと言える事が嬉しそうです。

私の住む地域も戸数が減り、孫と歩いて5、6分の距離に空き家が数戸続いております。見守りは、それぞれの暮らしを大切に、地域全体で助け合う事に欠かせないものです。お互いが見守り見守られて暮らしに安心が得られるのだと思います。

24時間テレビから

訪問入浴車、寄贈

公益社団法人24時間テレビチャリティー委員会様より、訪問入浴車1台の寄贈がありました。3月5日(木)、西日本放送(株)岡山本社で、車両の贈呈を受けました。

これは、24時間テレビ「愛は地球を救う」に寄せられた善意の募金によって、全国の社会福祉法人等の団体に対し、行われたものです。岡山県内では、令和元年度、6団体に福祉車両各1台が贈呈されました。

訪問入浴車は、浴槽を積んでご自宅を訪問し、入浴サービスを提供します。このサービスを利用することで、安心して入浴ができる」と、ご利用者やご家族に喜ばれています。社協は、引き続き安心・安全な入浴サービスをお届けしていきます。

私たちが訪問します!!



↑ 新しい訪問入浴車(軽自動車)と社協職員

広報担当の
つぶやき

4月になるとお祝いや感謝の気持ちに花を送ったり、もらったりする機会が増えるのではないのでしょうか?花束で見かける「ガーベラ」の花言葉は『希望』『常に前進』。希望に満ちた4月を!



真庭市社協HP